

主な取組み－160の事例－

1. 自らの努力による最大使用電力の削減

オフィス、工場、研究所、店舗共通

照明

- <運用の改善>**
 - 人のいない場所の消灯の徹底
 - 照明の間引き
 - 窓側、廊下、社員食堂等の全消灯
 - 昼休みの消灯の徹底
 - 看板、ショーウィンドウ、庭園等の装飾照明の消灯
 - 昼間の男子トイレの消灯
 - 感知式照明の点灯時間を短縮
 - 終業時の一斉消灯
 - フロアでの輪番消灯
 - 照明点灯時間の短縮
 - オフィススペース、オフィス組織・人員の統合
- <機材の改善>**
 - 電球のLEDへの切り替え
 - IT技術による制御化
 - 高効率照明反射板の設置
 - 人感センサーの導入

エレベーター等

- 間引き運転
- 利用の自粛(階段利用の奨励(2up 3downは階段で))
- 「ちょっと待って」の相乗り利用
- エスカレーターの停止

エアコン、空調機等

- <運用の改善>**
 - 冷房温度の引き上げ、空調管理の厳密化
 - エアコンの停止、共用部のエアコンの停止
 - 定時後の空調の停止
 - 昼休みのエアコン停止
 - 省エネ型エアコンの導入
 - エアコン設置温度を上げ、扇風機、サーキュレーター(空気循環器)を活用
 - 換気回数、湿度条件の見直し
 - フィルターの清掃などエアコンの検査
 - オフィススペース、オフィス組織・人員の統合
 - クールビズの強化(「節電ビズ」、Tシャツ、ホロシャツの着用可、カジュアルエブリデーの導入)
 - エアコン屋外機への遮光・散水
 - うちの配付
- <機材の改善>**
 - 間欠運転機の導入
 - IT技術による制御化
 - ガス冷房の導入
 - 遮熱シート、ブラインド、よしずの活用

OA機器

- コピー、プリンター機等の必要最小限のもの以外は電源オフ
- コピー、プリントアウトの量を最小限化
- パソコンの離席時の電源オフ
- パソコンをバッテリーで駆動する時間の設定
- 待機電力の抑制、コンセント外し
- パソコンのスタンバイモードの設定
- サーバー機器の移転・外部委託
- 社内LANの稼働時間制限
- 省エネ型OA機器の導入
- IT機能の本社への統合

作業時間・形態・場所

- 就業時間の一時間前倒し等のシフト
- ノー残業デーの設定・強化
- 早期(定時)退社の徹底
- 自宅勤務の推進、制度の導入
- 営業部門の直行・直帰、午前10時以降の社内作業の禁止
- 生産等一部機能の圏外への移転
- 残業専用フロアの設置
- 夕方以降の業務照会・指示の禁止
- 7～9月の就業時間を短縮し、10～12月の就業時間を拡大
- 昼食時間を13時から開始し、電力ピークを一般からシフト

その他

- 便座ヒーター・温水の停止
- エアタオルの停止
- 節水の推進
- 給湯・給茶器の稼働時間制限・停止
- 太陽熱給湯器の活用
- 冷蔵庫・冷凍庫の温度の調整・使用停止
- 自動販売機の停止
- 受付自動ドアの停止(常時開放)
- 受付ロビーのBGM、ビデオ演奏の停止・時間短縮
- 観賞池の水循環ポンプの停止
- 地下駐車場を使用せず、隣接駐車場を利用し、ファン、蛍光灯、機械式駐車場の使用を削減
- 地下駐車場、電気室、機械室等の吸排気ファンの停止
- 喫煙室の使用中止(空気清浄機の運転停止)
- 立体駐車場設備の稼働抑制
- イントラネットにおいて、節電策・効果や、リアルタイムでの電力消費の公表による見える化
- 貼り紙、掲示板等での節電の呼び掛け
- 社食メニューの省エネ化
- 社員食堂の閉鎖

休日・夏期休暇

- 祝祭日等の休日の夏期への振替(例・10月～12月を7～9月に)
- 夏期休暇前後の連続休暇取得奨励
- 夏期休暇の計画的取得による休暇取得者の分散化
- 有給休暇取得の奨励
- 休暇の夏期への集中取得の奨励
- フロア毎の輪番休日
- 土日の振替営業

工場

生産活動に係る運用改善

- 試験設備の稼働時間帯変更
- 生産性向上による稼働時間短縮
- 使用電力が大きい機器・作業の一部停止・ピーク時からのシフト(溶接、塗装コンプレッサー、冷凍機、冷却水、加工設備、塗装機、乾燥機、抄紙機、コンベア、梱包設備、真空炉、製膜機、エア試験設備)
- 電力を動力源としない機器への変更(電動式エアコンプレッサーをエンジン式エアコンプレッサーに、空調機を電気式からガス式に、圧縮機を電気式からディーゼル式に)
- 排水処理、空き箱洗浄等の工程を夜間にシフト
- 冷房倉庫の設定温度の見直し
- バッテリー型フォークリフト、充電式工具のピーク時間外充電
- 在庫量削減による冷凍機電力の削減

作業時間・場所

- 生産活動の土日へのシフト
- 生産活動の夜間・早朝へのシフト
- 夏期休暇のシフト(一般とずらし、8月後半に)
- ラインごとの輪番作業
- グループ企業、コンビナート内、工業団地内での輪番作業
- サマータイムの実施
- 作業制限
- 他企業への生産委託
- 前倒し生産・在庫積み増しによるピーク時生産の削減
- 定期修理期間を夏期に集中

創エネ等、その他

- <創エネ等>**
 - 自家発電機の導入、レンタル、出力向上、非常用・試験用の活用
 - 蓄電池の活用
 - コジェネのフル活用
 - 冷熱の夜間蓄熱
 - 太陽光発電の導入
- <その他>**
 - 屋上散水
 - 頂上熱気抜き穴開け
 - ルーフファンの間引き
 - 職場レイアウトの変更による冷房効率が悪い建物の冷房中止
 - 屋上への遮熱塗装
 - 省エネ工場診断の実施

研究所

- 電力需要ピーク時を避けた実験の計画的実施
- 研究作業の外注
- 塗装炉、塗装ブース(廃棄設備)、振動台実験、実験用排気ファン、風洞実験設備、遠心模型実験設備等の稼働制限・延期
- 試験装置のブレーカーオフ
- 実験設備(例:信頼性実験設備、保管庫、冷蔵庫、恒温機、分析機器)の東京電力・東北電力管内以外への移管・代替施設での実験実施
- 試験室管理温度範囲の緩和
- 実験動物の購入抑制、動物の集約化による動物管理の電力削減
- 試験装置の省エネ改造
- 発熱設備への断熱材設置

店舗

- 看板、ショーウィンドウの消灯
- 店舗内照明の間引き
- 高効率反射板の導入
- 店舗の輪番作業(銀行ATM等)
- ショー、セミナーの開催制限
- 営業時間の短縮
- 閉鎖予定店舗の閉鎖前倒し

2. 小口需要家への働きかけ

- 自社の取り組み内容を周知し、協力を依頼
- 取引先の取り組み支援
- 節電のコンサルティング、支援
- 節電事例・ノウハウの紹介
- 自家発電機の貸与、レンタルの手配等の支援
- 協会会社に対し節電計画のアンケート実施
- 関係子会社も含むグループとしての計画策定
- 生産の合理化・最適化が可能となるような発注のコントロール

3. 従業員への働きかけ

- 社員に対して自発的積極的節電の呼びかけ
- 節電コンテストの実施
- 家庭での具体的な節電策(独自の節電アイデア・業界団体で作成されたもの・政府提示の節電メニュー等)を周知し(社内イントラネット、文書、ポスター、社内放送等)協力を要請
- 家庭での節電説明会の開催
- 全体集会で社長から呼びかけ
- 目標値を示し個人の節電を促進(例:15～20%減)
- 日本救済を動機づけに従業員に呼びかけ
- 社員寮における節電の徹底
- 自社版エコポイントの導入(社員の省エネ製品購入支援)
- 環境家計簿参加呼びかけ

4. 電力供給増加への貢献

- 自家発、共同火力等の最大限の活用
- 水力発電、太陽光発電、バイオマス発電の活用
- 大口自家発電保有者への燃料の供給

5. 大口需要家への協力

- テナントとして、大口需要家としての自社の取り組みと同等にビルオーナーの取り組み方に協力
- 仕入先メーカー等の生産調整に協力(後ろ倒し生産、前倒し生産)
- 顧客の節電計画に合わせた出勤体制の構築

6. その他(組織、PDCA)

- 対策本部を設置し、全社体制を構築
- 関連規定の整備
- 拠点別、機器別、優先度別の消費電力量一覧を整備
- 本番(7月～9月)前に試行
- モニタリングの強化の検討
- デマンドコントローラーの導入
- モニター設置による電力消費のリアルタイムの把握
- 専門家によるコンサルティングの導入
- フロアごとに節電担当を任命、節電チームを組織
- 業界団体で事例集を配付
- 省エネ提案制度の創設、全従業員による省エネの発案